

わーく&らifu

平成30年3月13日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

★人生の先輩からのメッセージ～アンケート「後輩保護者へ伝えておきたいこと」集計～
★平成29年度特別支援学校の進路状況(2月末現在)

★人生の先輩からのメッセージ

～アンケート「後輩保護者へ伝えておきたいこと」集計～

高等部3年のみなさん、並びに保護者の皆様。ご卒業おめでとうございます。昨年度から「進路だよりわーく&らifu」最終号は、高等部3年生保護者の皆様に、人生の先輩として、子育ての先輩として、そしてお子様の進路選択に向けて取り組まれた先輩として、卒業という節目に当たっての様々な思いをお聞きすることにしています。少し先を歩く先輩達の「生の声」はきっと、下級生保護者の皆様にとっても、私達教師集団にとっても、大きな示唆を与えてくれるものであるはずです。

そして同時に、みんなが歩んで来た(いく)道だから、後輩のみなさんも「心配いらんよ!」「きっと大丈夫!」と、励まし背中を押してくれるものに違いありません。どうぞ、先輩方の今の心情に「**思いを馳せながら**」お読みください。

1. 進路選択で大切にしたいことは何ですか?

◆現場実習・施設体験・放課後等デイなどの直接体験

- ・職場体験時の本人の表情だったり、関わりだったり一番を考えていました。
- ・子どもが楽しく穏やかに過ごせることを一番に思いました。事業所は、興味があるところには少し早めに見学や実習に行った方がいいと思います。高三の後半になるといそがしくなりますので。
- ・児童デイサービスで慣れたところなので本人も負担が少ないと思います。
- ・現場実習でいろいろなことを体験し、自分でやりたいことを見つかることができたので、現場実習はとても有意義でした。最終的に自分にぴったりというところを選べたと思います。

◆本人の意思

- ・本人が行きたいところ。(多数意見)
卒業された先輩方がいらっしゃるので安心感がとてもあった様です。そのおかげで実習中一度も行きたくないと言う事はありませんでした。
- ・本人のやりたい作業があるかどうか。(複数意見)
やる気を持って長く続けられるような仕事を選択できたかと思っていました。本人の好きな事、特性を活かした就労先を優先しました。
- ・何度も悩みましたが、本人の意思を大切にしました。
- ・いくつか現場実習を体験する中で「もう行きたくない!」と拒否もあり、不登校にな

った時期もありましたが、最終的には本人が希望する就労先へ決まったので良かったです。(スタッフの支援も行き届いていて自宅近く)

◆親や家族の思い

- ・親の希望になりますが、自宅から近いことと、上の娘も生活介護で毎日通所していますので、二人一緒が安心と思って(選びました)。
- ・家から近いこと。本人が何をしたいのか。
- ・本人と話すのが難しいので、親が本人のことをよく考えました。体を動かす農作業、ひとつの作業をずーっとするところ、部品などの座り作業、本人が飽きずにいろいろチャレンジできる職の種類を大切にしました。
- ・将来的にグループホームに入れるところ。
- ・実習で数カ所事業所さんへ行きましたが、将来的にショートステイをさせてグループホームに入所するという考えがあったので、まずは、ショートステイサービスのある事業所さんにしました。
- ・医療行為ができる場所であること。
- ・行ったことがある場所で、一日の間で必ずやって欲しい事が叶うこと。
- ・大切にしてくれるところ。楽しく過ごせるところ。通える近さ。送迎問題。
- ・施設の雰囲気。



まとめ

障がい者の権利擁護に当たっては、本人の「意思決定」をいかに支援するかが鍵になります。しかし子どもたちの「はっきりとした意思がくみ取りづらい。」ことに悩まれる保護者は多いと思います。

そこで大切にしたいのが「親や家族の思い」です。子どものことを一番よく知っているのは家族ですから、家族の印象はとても重要です。そのためには、保護者が事前に、福祉サービスについての知識を深めておくことが大切です。それには実際に見る事が一番。早いうちからいろいろな施設を見学しておきましょう。



また、手前味噌ですが、本校で取り組む「福祉サービス事業所説明会」や「ハートフルシンポジウム」は、効率よく情報を集めることの出来る機会です。是非ご利用ください。

それから、学校で行う現場実習や施設見学・施設体験、日々の放課後等デイサービスを最大限に生かすことが大切です。これにはお子さんの体験のみならず、お子さんのことを知ってくれる人が増えるチャンスとも考えられますね。

言葉で感想を伝えられないお子様も、日誌等を通じた福祉サービス事業所とのやりとりや、帰宅してからの様子などで、『向き・不向き』がかなりの確に判断できると思います。

また、実習や体験の様子は、親が直接見学していただくことをおすすめします。そうすることで、単に施設の設備見学だけでなく、責任者の方から基本的な経営理念をお聞きしたり、お子様がそこにいる雰囲気や施設職員の様子等を具体的に確かめたりできるチャンスです。



更には、実習や体験後の進路相談で、親・教師・実習先担当者の意見を総合的にまとめることも進路決定に向けて大切なプロセスです。

2. 卒業という節目に感じることは何ですか？

Q1 家庭の取組でやって良かったと思うこと

◆健康管理・生活習慣

- ・体調管理 朝ご飯は必ず！！それで一日の様子が想像できる。
- ・食事好き嫌いもなく何でもしっかり食べるので三年間病気になることなく元気で過ごすことができました。
- ・欠席が少なかった事。健康には特に気をつけました。バランスの良い食事等（足りないときはサプリメント）決まった時間に就寝（環境を整える）
- ・現場実習の時。土日なども自ら早起きできる。親が起こしたことはない。
- ・1ヶ月のスケジュール、1週間のスケジュール、そして1日のスケジュールをたて、見通しを持たせてあげることでスムーズな行動がとれるようになった。



◆身辺自立

- ・自分の身支度をすること。食べた食器を片付けること。毎日取り組むことのできるようになりました。

◆療育・訓練

- ・生まれつき重複障がい運動面も遅れていたため、訓練や親子療育に早めに取り組んだことで、筋力も徐々につき、あまり人見知りせずに誰とでも仲良くなれるようになった。

◆親子関係・コミュニケーション

- ・「〇〇さん」（名前）をしつこく呼ぶ。声をかけまくる。（そうすることで）母と解ってくれると信じています。（反応は薄かったですが）
- ・何かしら音楽。音を聞かせて声かけ！！

◆あいさつ

- ・あいさつ。家族間でも日頃から「おはよう」「ありがとう」「おやすみ」など必ず言うようにしています。習慣になり外でも「こんにちは」など言うことができるようになりました。

◆親子・きょうだい関係

- ・特別に何かをしてきたことはありませんが、三人きょうだいの長男なので、息子を中心に家族で協力しながらやってきました。妹二人が、息子を大切に思っていることが嬉しいです。



◆送迎

- ・自慢ではないが、必ず母が送迎をずーっとしたこと。



◆家事・手伝い

- ・自分から進んで少しでも料理を手伝ったこと。
- ・親が仕事で家を空けることが多かったため、自然に自ら家の手伝いや自分のことをするようになり、また、弟の面倒もよく見てくれました。
- ・料理などのお手伝いをお願いしました。はじめてすることも含めてお願いしました。
- ・お手伝い。簡単な単純作業が中心ですが、毎日してくれるようになり家を留守（2時間ほど）にすると、自主的に他の事もやってくれたことがあって良かったです。



- ・引っ越しを機に食器洗い洗濯たみのお手伝いを決めると、ほぼ毎日やれるようになってきました。家の場合は主人が厳しいのでほめられる事で継続につながっているようです。

◆その他

- ・人に手を出さない。とにかくやさしく。

Q2 学校の取組で身につけた大切なこと

◆いろいろな体験

- ・家庭ではあまりしないような活動（お絵かき、タブレット、野菜作り、団体行動など）を通して、いろいろと貴重な体験ができました。

◆集団行動・人との関わり

- ・協力すること。（多数）
- ・学校の取組で身につけた事はたくさんあります。先生方の関わり、友だちとの関わりの中で、大きな成長を実感しています。
- ・集団生活の中皆と協力することや人を思いやる気持ちが少し育ったのではないかと思います。
- ・お友達とのかかわり方。相手を思いやる気持ち。
- ・人との関わり合いで、友だちができたこと。
- ・いつも一人で過ごしていましたが、学校や通学中に一緒にいることができるようになった。
- ・コミュニケーション能力や目上の方に対する言葉づかい。
- ・人を思いやる心。
- ・少しガマンできるようになってきたかな？
- ・ルールを守る（時間を守る）



◆あいさつ・へんじ

- ・へんじ（タイミング）
- ・あいさつ（多数）
- ・声出し、あいさつ運動で、あいさつが上手になりました。

◆生活リズム

- ・Mさんにとっての一日の流れ（学校に行くということ）
- ・大切なことは、規則正しい生活を送ることかな！？と思います。

「どれにする？」



◆選ぶこと

- ・自分で選ぶ（いろいろなことで）

◆通学

- ・自力でバス通学が出来たこと。給食を時間内で食べること。

◆キャリア教育・作業学習

- ・作業クラフトでは、ものを作る体感ができ、達成感もあったと思います。進路先である作業の体験もできて良かったです。（校内実習）
- ・「職業」という授業があり、いろいろ学んだところ。
- ・校内実習があったおかげで仕事はどういうものなのか、仕事先での言葉づかいなど身についたと思います。
- ・清掃、友だちのフォロー
- ・最後までやり遂げる力。

Q3 もっと力を入れておけば良かったと思うこと

◆十分がんばりました！

- ・ありません！！力を入れました。



◆他保護者や学校とのつながり

- ・本人にはあまりありませんが、わたし自身がもう少し学校に行く機会を作って活動の様子や他の子どもさん達のことも知りたかったです。
- ・保護者のみなさんと話す機会が少なかったこと。
- ・すべてにおいて力を入れてきたわけではありませんが、中学部の頃から常に、卒業後の生活については考えていました。何か問題があるときは、一人で悩まずにすぐに相談して解決することは大事だと思います。



◆生活の基本的行動

- ・身支度
- ・洗濯や身の回りのこと。
- ・家事をするときに一緒にお手伝い
- ・タブレットの使用時間をきちんと決めて与える。



◆社会生活スキル

- ・行動に於いて、ひとりで出かけたり出来ないの、もう少し自分の判断で動けるようになって欲しかった。
- ・自主登校・バス通学
- ・買い物学習



◆対人スキル

- ・もっと人と人とのつながり方を力を入れておけば良かったと思いました。
- ・日々のあいさつや感謝の言葉を当たり前のように言えるよう日頃から家庭でももっと行っておけば良かったと思いました。
- ・年上の方への言葉づかい
- ・電話の対応

◆現場実習・親の見学

- ・進路決定の際に、現場実習が2カ所しか行っていないので、いろいろなところに行かせてみれば良かったかなと思います。
- ・進路先の見学等も時間を作って行けば良かったと思います。

3. その他後輩に伝えたいこと。

◆重複学級の先輩保護者より

- ・「まだまだ」と先送りしてきた施設選び。早く動いた方が良いです。自分では「ここが！！」と思っても、決めるのが難しく、後の方では「はあー？」と頭が痛いですよ。
- ・相談員さんとの関係性も大切。
(ここまでは相談員さん？学校？どちらに？という場面がある。)
- ・学校生活は思ったより短いので、悔いの無いよういろいろチャレンジして楽しい思い出をたくさん作って欲しいです。
- ・高校三年間は身体的にも精神的にも何かしらの変化があります。そのときそのとき



に、きちんと向き合えば大きな問題までには至らないと思います。

◆一般学級の先輩保護者より

- ・先輩・先生方・事業所などたくさんお話を聞き情報を集め、親子で現場に行き、話しをすることが良いと思います。
- ・出来ないからと親があれこれ口をはさんだり手助けばかりしては、何も身につかないので子どもを信じて親子で成長し合っていく事が大事だと思います。
- ・一人で抱え込まないで周りに協力してもらって時には一人の時間や趣味ももちながら長い学校生活を上手に乗り切っていきましょう！
- ・学校生活を楽しんでください。
- ・人間関係を大切にしてください。

★平成29年度特別支援学校の進路状況(2月末現在)

県内の特別支援学校では、進路指導担当者が年に4回集まり、進路に関する情報の共有と、進路指導に係る研修を行っています。

第4回には県内20校の進路状況についてとりまとめました。2月の集計なのでまだ暫定値ですがその概要をお伝えします。

進路の種類	H29	H28
一般企業	99	68
療養介護	10	10
生活介護	57	57
自立訓練(機能訓練)	0	0
自立訓練(生活訓練)	14	15
就労移行支援	31	27
就労継続支援A型	44	70
就労継続支援B型	52	44
地域活動支援センター	0	0
重症心身障害児(者)施設	3	2
重症心身障害児(者)通園事業	0	0
進学	11	6
専門校	2	4
児童施設	0	2
その他	7	5
未定	19	4

349 314

卒業生数は昨年比35人増。

特徴的な傾向としては、就労継続支援A型利用者がかなり減少し、その分、一般企業就職者が増加したことです。

背景として、好景気と4月からの障がい者雇用率の引き上げ(民間企業で2.0%から2.2%へ引き上げ)が影響したのと、就労継続支援A型を取り巻く環境の変化が挙げられそうです。

【編集後記】

高等部3年生の保護者アンケートはいかがでしたか？
特別支援学校は、小学生の保護者の皆様にもこのような形で、高等部3年生保護者の思いを知り、我が子の今と重ねて将来を想像できる良さがありますね。
生徒一人一人の進路を、皆が大切に思うARA・SHIの伝統をこれからも大切に参りましょう！

本年度の「わーく&らいふ」ご愛読ありがとうございました。4月からもお子様の幸せな未来に思いを馳せることができるような情報をお届けして参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。(谷口)

